

# インド知的財産の概要

## ～特許情報を中心に～

Outline of Indian Intellectual Property



独立行政法人日本貿易振興機構 ニューデリー事務所 知的財産権部長 **今浦 陽恵**

1999年特許庁入庁。審査官のほか、在外研究員、経済産業省模倣品対策・通商室、特許庁国際課などを経て、2012年8月から現職。ニューデリー事務所では、南西アジアにおける知的財産関連の調査や事業を担当。

✉ IND-IPR@jetro.go.jp

☎ +91-11-4168-3006

## 1. はじめに

インドはBRICsの一角として近年目覚ましい経済成長を遂げ、12億人ともいわれる人口規模とも相まって、その市場としての注目度を高めている。また、インド内需のみならず、中東・アフリカといった西方市場までも睨んだ製造・輸出拠点としての機能も高まっている。さらには、英語を話せる良質な知識層を背景にリバース・イノベーションと呼ばれる新興国向け商品の開発や、それにとどまらないグローバル研究開発拠点として、R&Dセンターをインドに設ける企業の数も増加している。このように、インドは、市場、製造拠点、研究開発拠点といった、知財を語る上で重要な要素をいずれも充足しており、インド知財に対する注目も必然的に高まっている。その結果、特許出願件数も2011年度には、43197件に達し、日米欧中韓の5大特許庁及びドイツに次ぐ世界第7位の特許出願受理国となっている。

このように、インド知財に対する注目度と重要性が高まる中、ジェットロでは、2012年8月にインド・ニューデリー事務所に知財専従職員を初めて派遣し、インド及び周辺国の知財情報の収集・提供及び、各種事業を開始している。

とりわけインドについては、知財に関する情報が少ないと言われるが、ジェットロのホームページ (<http://www.jetro.go.jp/world/asia/in/ip/>) での情報を充実させているところであり、是非一度拝見いただければ幸いです。

## 2. インド知財の概要

インドの特許情報を説明する前に、インド知財の概観についてまず説明する。

「インドには特許庁が4つあると聞くが本当か」と聞かれることがよくある。インドでは、特許審査は、4か所のオフィスでそれぞれ行っていることから、そのような質問になるのだが、これらは厳密には、「特許局」がコルカタ本局、デリー支局、ムンバイ支局、チェンナイ支局の4つの本支局に分散しているのであって、組織としての「特許局」はあくまで1つである。そして、各オフィスにはそれぞれに「電気電子」、「機械」、「化学」、「バイオテクノロジー」の4つの審査グループが設けられ、全ての技術分野をカバーしている。4つのオフィスのどこに出願するかは、内国出願であれば出願人の所在地による土地管轄によって決まるが、外国出願の場合は、

代理人次第となる。

特許局の審査は、先行文献調査や拒絶理由通知等の起案を行う「Examiner (以下、審査官)」と呼ばれる者と、その結果を受けて実体的な内容に踏み込んだ決済と代理人とのコミュニケーションを担当する「Controller (以下、審査管理官)」と呼ばれる者に大別される。2011年3月末の時点で、審査管理官が75名、審査官が79名となっており、その後審査官は、150名程度の増員が図られている。特許局では、審査官の月平均の審査処理件数は、10-16件としている。他方、前記の通り特許出願件数が近年急増している状況にあり、絶対的なマンパワーが不足している。そこで、本年7月には、特許局を監督する特許意匠商標総局長官が、審査官を500人規模で増員する計画を発表している。

また、インドでは、特許局とは別組織として知的財産審判委員会 (IPAB : Intellectual Property Appellate Board) が設けられており、特許・商標に関し、特許局・商標局の判断に不服の場合や、権利の取消を請求する場合などに、審判を請求することができる。IPABは、定年となった元高裁判事が委員長を務め、副委員長及び特許・商標の各技術委員のそれぞれ各1名がサポートする体制となっている。IPABの本部は、チェンナイにあるが、特許局・商標局の本支局がある、デリー、ムンバイ、コルカタ、アーメダバードを定期的に巡回し、審理を行っている。IPABについても、最近HP (<http://www.ipabindia.in/>) がリニューアルされている。審決についても閲覧可能となっており、興味のある方はご覧いただきたい。

### 3. インドにおける特許情報

インドの特許情報であるが、それを専門に扱うDBを提供している会社もインドにはある。他方、インド特許局も独自のDBや検索システムを提供している。以下では、一次ソースともいえるインド特許局の提供している特許情報について紹介する。

#### ○ Patent Office Journal (図1)

インドにも出願公開制度があり、出願日 (又は優先日) から18月、または出願人の請求に基づき、出願公開さ

れる。公開情報は、特許局のHP上で公開されている。ただし、当該公開情報はフロントページのみであり、具体的な内容は把握できない。

Year 2013		19th		25th	
January	4th	11th	18th	25th	
February	1st	8th	15th	22nd	
March	1st	8th	15th	22nd	29th
April	6th	13th	20th	27th	
May	3rd	10th	17th	24th	31st
June	7th	14th	21st	28th	
July	5th	12th	19th	26th	
August	2nd	9th	16th	23rd	30th
September	6th	13th	20th	27th	
October	4th	11th	18th	25th	
November	1st	8th	15th	22nd	29th
December	6th	13th	20th	27th	

(図1) Patent Office Journal 掲載ページ ([http://www.ipindia.nic.in/ipr/patent/journal\\_archive/journal\\_2013/patent\\_journal\\_2013.htm](http://www.ipindia.nic.in/ipr/patent/journal_archive/journal_2013/patent_journal_2013.htm))

#### ○ IPAIRS (図2,3)

公開情報では抄録しか公開されていないが、IPAIRSを用いることで、全文閲覧が可能になる。

IPAIRSでは、「登録特許 (Granted Patents)」、「公開済出願 (Published Applications)」、「出願状況 (Application Status)」、「代理人情報 (Agent Register)」の4つのタブからなり、「登録特許」、「公開済出願」タブについては、出願人名等で検索が可能になっている。

Welcome to IPAIRS Version 2.0

Granted Patents | Published Applications | Application Status | Agent Register

Published Applications

Submits

NOT SELECTED [v] Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

NOT SELECTED [v] Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

TITLE OF INVENTION Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

ABSTRACT TEXT Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

APPLICATION NUMBER Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

APPLICANT NAME Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

(DATE OF FILING(NATIONAL)) Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

INVENTOR NAME Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

INVENTOR ADDRESS Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

JOURNAL NUMBER Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

PUBLICATION DATE Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

(INTER. CLASS. CODE(IPC)) Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

PCT INT. APPL. NUMBER Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

NOT SELECTED [v] Containing [v] [ ] [AND] [v] [v]

(図2) IPAIRS トップページ (<http://ipindiaservices.gov.in/patentsearch/search/index.aspx>)

ただし、ここで提示される情報は上記の抄録に過ぎない。全文を閲覧するには、これらで検索して入手した出願番号を「出願状況」タブに入力する必要がある。その結果、次頁のような画面が表示される。

下部には、「全文明細書閲覧 (View Complete Specification)」、「e-登録閲覧 (View E-register)」、「審査報告閲覧 (View Examination Report (s))」、「命令 / 決定 (Order (s) / Decision (s))」、「文書閲覧 (View Documents)」等のボタンが用意されており、それら

Welcome to IPAIRS Version 2.0

Granted Patents | Published Applications | Application Status | Agent Register

Detail

APPLICATION NUMBER	1000/DEL/2007
APPLICANT NAME	BESPAK PLC
DATE OF FILING	08/05/2007 12:50:35
PRIORITY DATE	26/05/2006
TITLE OF INVENTION	DISPENSING APPARATUS FOR DELIVERING METEDED DOSES
PUBLICATION DATE (U/S 11A)	07/12/2007

Application Status

Request For Examination Date	03/07/2007 16:50:37
First Examination Report Date	05/05/2011

Status

**Application is under Examination  
Group: 4 (Mechanical Engineering And Other Subjects)**

Print | Back Report | View Complete Specification | View E-register | View Examination Report(s) | Details/Disclaimer | View Documents

(図3) IPAIRS「出願状況」検索結果

をクリックすることで該当する情報が表示される。明細書全文を閲覧したい場合には、「全文明細書閲覧」を押すか、「文書閲覧」を押して表示される書類のリストから、必要な pdf ファイルをクリックして表示させることができる。「全文明細書閲覧」では、図面が表示されないものの、テキストデータが入手できるという利点がある。他方、図面を入手するには、「文献閲覧」を利用する必要がある。いずれにしろ、上記方法により、インド出願の全文情報を入手できるようになっている。

また、「e-登録閲覧」では、特許査定された出願の年金納付状況等が閲覧できる。また、「審査報告閲覧」では、拒絶理由通知を閲覧できる。さらに、「命令/決定」については、ヒアリング等を行うなどして、命令乃至決定が出された場合、これを閲覧可能となっている。

○ Dynamic Status of Patent Applications as per field of invention (図4)

インドでは、4つの審査グループに都合23の技術分野が定められている。それぞれの技術分野において、審査未決のものや、特許査定された案件等のリストを表示できる検索ツールがこれである。

「係属中 (In Process)」、「特許査定 (Granted)」、「拒絶査定 (Refused U/S (15))」、「みなし放棄

AGROCHEMICALS Pending Applications (AGROCHEMICALS)

Disclaimer: Listed Applications Have Been Classified into Disposition, If Any, May Be Reported at [delhi-patent@ipc.in](mailto:delhi-patent@ipc.in), [mumbai-patent@ipc.in](mailto:mumbai-patent@ipc.in), [chennai-patent@ipc.in](mailto:chennai-patent@ipc.in)

Sl. No.	IPC Class.	App. No.	Inventor	Applicant	Priority Date	Filed Date	Disposition
1	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination
2	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination
3	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination
4	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination
5	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination
6	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination
7	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination
8	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination
9	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination
10	A01N 25/00	1000/DEL/2007	BESPAK PLC	BESPAK PLC	26/05/2006	08/05/2007	Under Examination

(図4) Dynamic Status of Patent Applications as per field of invention 検索イメージ (<http://ipindiaservices.gov.in/publicfieldofinvention/>)

(Abandoned U/S 21 (1))」、「出願 15 月以降の取下 (Withdrawn After 15 month)」の5つに分類される出願のリストが表示される、一部は、ハイパーリンクにより文書を閲覧可能になっている。

「係属中」には、①特許出願後で審査請求前の案件、②出願公開・審査請求後で最終処分前の案件、③審査請求せず、みなし取下となった案件が含まれている。

なお、2012年7月1日以降のデータが収録されているとされているが、これ以前に処分された案件のデータも含まれているため、注意が必要である。

○ Disposal of Patent Applications (図5)

最終処分済案件の情報をリアルタイムで分析可能になっているものが、本年9月にリリースされた本検索ツールである。これは、技術分野別ではないものの、4つの本支局別、4つの審査グループ別に所定期間に発出された最終処分 (特許、拒絶、放棄) の件数を表示可能になっている。これにより、特許査定率や最終処分件数を、オフィス、審査グループ別に比較可能になっている。また、件数をクリックすることで、該当する案件のリストが表示され、IPAIRS へもリンクしている。

Disposal For year 2013 of month AUGUST

GRANTED				
GROUP	DELHI	MUMBAI	KOLKATA	CHENNAI
Electrical/Electronics	18	7	17	16
Mechanical	23	13	6	17
Chemical	30	22	18	35
Biotechnology	15	6	0	4

  

REFUSED				
GROUP	DELHI	MUMBAI	KOLKATA	CHENNAI
Electrical/Electronics	3	1	1	0
Mechanical	1	4	0	4
Chemical	3	11	2	7
Biotechnology	7	2	1	3

  

ABANDONED U/S SEC 21(1)				
GROUP	DELHI	MUMBAI	KOLKATA	CHENNAI
Electrical/Electronics	3	27	6	39
Mechanical	8	14	13	33
Chemical	116	33	36	39
Biotechnology	24	6	0	1

(図5) Disposal of Patent Applications 掲載ページ (<https://ipindiaservices.gov.in/disposal/>)

○ Dynamic FER View (図 6,7)

拒絶理由通知については、さらに追加的な検索ツールが本年 8 月にリリースされている。4 つある本支局別、審査グループ別に、所定月に発送した最初の拒絶理由通知(FER: First Examination Report)の数が表示され、それをクリックすると、該当する案件のリストが表示される。また、そのリスト上で特定案件をクリックすると、FER の閲覧も可能となっている。

Dynamic First Examination Report (FER) displaying utility-				
FERs issued in the current month				
GROUP	Delhi	Mumbai	Kolkata	Chennai
Electrical/Electronics	200	35	42	22
Mechanical	56	4	18	13
Chemistry	73	19	48	23
Biotechnology	40	8	1	9

(図 6) Dynamic FER View 検索画面  
(http://ipindiaservices.gov.in/ferstatus/)

FERs issued in ELECTRICAL group from 1st of September to 5th of September				
Sl.No	Application Number	APPLICANT NAME	FER DATE	View
1	1815 DELNP-2008	EVVIX TECHNOLOGIES INC.	01-Sep-2013	View
2	7712 DELNP-2007	INTER DIGITAL TECHNOLOGY CORPORATION	01-Sep-2013	View
3	1044 DEL-2005	MICROSOFT CORPORATION	01-Sep-2013	View
4	1069 DEL-2005	MICROSOFT CORPORATION	01-Sep-2013	View
5	624 DEL-2004	MICROSOFT CORPORATION	01-Sep-2013	View
6	372 DEL-2009	MICROSOFT CORPORATION	01-Sep-2013	View
7	3108 DELNP-2006	LG ELECTRONICS INC	04-Sep-2013	View
8	3102 DELNP-2004	SONY CORPORATION	01-Sep-2013	View
9	453 DEL-2002	MICROSOFT CORPORATION	01-Sep-2013	View
10	6053 DELNP-2006	THOMSON LICENSING	01-Sep-2013	View
11	523 DEL-2005	MICROSOFT CORPORATION	01-Sep-2013	View
12	325 DEL-2005	MICROSOFT CORPORATION	04-Sep-2013	View

(図 7) Dynamic FER View 案件リスト

○ RQ Status of issued FERs (図 8)

インドでは、審査請求順に実体審査に着手しているものの、本支局間、審査グループ間で着手時期は異なっている。インド特許局では、現時点でいつ審査請求がされた案件に着手しているかを本年 6 月から公表、随時更新している。

Dynamic utility to view 'Month of Request for Examination for which FER is being issued (All Locations)'				
GROUP	Delhi	Mumbai	Kolkata	Chennai
Electrical/Electronics	April 2008	February 2009	October 2009	December 2008
Mechanical	July 2008	March 2009	July 2008	November 2008
Chemistry	October 2009	June 2011	May 2010	March 2009
Biotechnology	December 2009	April 2011	July 2009	July 2009

(図 8) RQ Status of issued FERs 掲載ページ  
(http://ipindiaservices.gov.in/rqstatus/)

○ Controllers' Decision (図 9)

ヒアリング等を行った場合には、特許局の最終処分は、決定 (Decision) という形で示される。これを検索するツールとして、表記 Controllers' Decision も提供されている。根拠条文や出願番号、出願人名、異議申立人名称等から、これら決定を検索可能となっている。

(図 9) Controllers' Decision トップページ  
(http://ipindiaservices.gov.in/patentdecisionsearch/patentsearch.aspx)

インドでは、「情報が少ない」といわれることが多いが、少なくとも特許情報については、ここに来てインド政府が積極的に改善を図っていることを理解いただけたのではないかと思います。これら検索ツールにより、本支局別の審査着手時期、審査処理件数、特許査定率等を分析可能になったことは、各本支局の特徴を把握する一助になるであろう。なお、日本の団体からインド特許意匠商標総局に対し、意見提出、意見交換を行い IPAIRS の改善に反映されたことなど、日本側の建設的な取り組みとインド政府の前向きな対応にも付言したい。

4. 終わりに

本稿では、特許情報を中心にインド知財の概要について説明した。少しでも皆様の参考になれば幸いです。

JETRO ニューデリー事務所知的財産権部は、発足から 1 年を経たばかりの組織である。産業界の皆様からのご意見、ご要望をいただきながらより良い情報発信に努めてまいりたいと考えており、インド及び南西アジア地域の知財についてご関心のある方は是非遠慮なくご連絡いただきたい。